

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年8月19日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから8月19日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、1ポツの原子力規制委員会についてというところですが、来週も臨時会議としてCEO（原子力事業者の経営層）との意見交換があります。

今回の相手方は電源開発株式会社ということで、議題は今週の東北電力と同じで、審査の効率化ということになります。

次が、2ページ目ですが、8月25日の（4）核燃料施設等のほうの審査会合です。

議題は2つありまして。1つ目が、JAEA（日本原子力研究開発機構）の大洗の廃棄物管理施設の変更許可ということで、前回6月6日のコメント回答ということです。

2つ目は、京大炉の設計工事計画認可ということで、これも4月28日のコメント回答ということで、どちらも今回で終了見込みということのようです。

次が、8月25日の（5）デジタル安全保護系に関する協会規格の技術評価に関する検討チームということですが、これは民間規格の技術評価というものを毎年度計画的にやっているものでありまして、昨年度から継続的に行っていますデジタル安全保護系の関係でということになります。今回をもって技術評価書の案がまとめられる見込みということになっています。

次が、8月26日の（6）核燃料施設等のほうの審査会合で、石渡委員が出席する耐震関係ということになります。

議題は1つで、HTTR（高温工学試験研究炉）です。震源を特定せず、標準応答スペクトルの関係で、前回5月13日の審査会合で、基準地震動が追加されましたので、それに対する安全性の確認ということになります。これも今回で終了と見込まれています。

次が、3ページ、委員の現地視察の（1）更田委員長が8月25日から26日にかけて福島第一原子力発電所を訪問します。

ALPS（多核種除去設備）処理水の海洋設備や5号機建屋などを見ることになります。既に発表しているとおり26日のほうの取材が可能になっています。

次が、（2）のところですが、浜岡原子力発電所を山中委員が8月29日に視察し

ます。

元々7月26日に予定されていたものですが、コロナの濃厚接触に委員がなったので延期になったものです。こちらも発表のとおり取材が可能になっています。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

○司会 質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—